

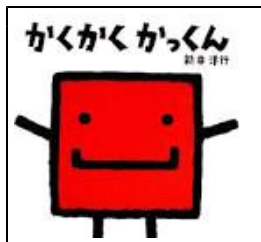
「ぴよんぴよん なにかな？」正高信男・あきやまただし



親子で遊びながら気持ちを通じあえる絵本。手遊びがたくさん紹介されていて、どれも簡単にできる手遊びなので、親子一緒にチャレンジしてみてください。手遊びのほかにも擬音やくり返しの言葉がたくさん登場し、絵本を富むことが楽しい時間になります。

* あかちやんすくすく絵本 * 鈴木出版 * B5 * 2004年5月

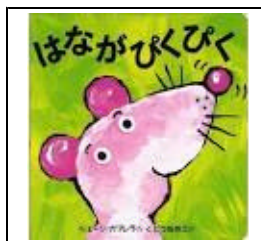
「かくかく かつくん」新井洋行



四角のキャラクター「かつくん」のユニークなお話です。かつくんが歩いていると色々な動物たちに出会います。かつくんが動物たちと楽しく遊び、動物がかつくんに触れるとみんな四角になってしまいます。“かつくん”というくり返し言葉と楽しい展開に、子どもも愉快的な気持ちになることでしょう。

* 学研教育出版 * B5 * 2012年2月

「はながびくびく」ジェーン・カブレラ



さまざまな動物が登場する、鼻をテーマに描かれたボード絵本。ページいっぱいに動物それぞれの絵がカラフルに描かれているので、まだ色を認識するのが苦手な子どもにおすすめです。手のひらサイズなので、自分でページをめくる練習にも適しています。最後のページには小さな鏡のおまけがついています。

* おひさまのほん * 小学館 * B6 * 2001年12月

「あんよ あんよ」中川ひろたか・ささめやゆき



赤ちゃんがひとりで歩き出したときのようなすを描いた1冊。作品に登場するのはパンダ、くま、さる、ぞう。動物たちはみんなひとりで上手に歩いています。とてもシンプルな内容ですが、それぞれのペースでゆっくり歩くように、読み聞かせも子どものペースでゆっくりのんびり楽しんでください。

* おうくんといっしょ1 * あかね書房 * B5 * 2013年1月

「おとうさんのかさ」三浦太郎



雨の日、主人公のメルシーちゃんはお父さんをむかえにいきます。お父さんの傘は大きくてしっかり持っていないと飛ばされう！そこへ次々と雨にぬれた動物たちが傘に入ってきます。やさしいメルシーちゃんはみんなを傘に入りたいと思うのですが…どうなるのでしょうか。

* のら書店 * B5 * 2012年6月